



園長回覧板

(園長の思いです。が長いですが、最後まで読んで頂くと嬉しいです)

私は卒入園のこの時期になると、毎年思うことがあります。

【嬉しい瞬間を、有り難う！】

今年も3月に卒園式を終えました。晴れの日に涙することなど必要ないとは分かっているけど、子ども達一人一人の成長を目の当たりにすると、感動してしまいます。

個性豊かな子ども達で、誰一人として同じ人はいません。それぞれが一生懸命に生き頑張っているなぁと思うと、胸が高鳴ります。 **本当に嬉しい瞬間です。**

そして、式後の全職員を招いての「謝恩会」では、保護者の方々から多くのお礼の言葉を頂戴します。こんなにも信頼して頂き、熱いお気持ちを頂いて良いのかと有り難すぎて、恐縮してしまいます。 **本当に嬉しい瞬間です。**

もう一つ、その日の昼過ぎには12歳の卒業生達が大勢の仲間と「先生有り難う、4月から中学生や」と園を訪れてくれた事です。付き添いの保護者の方とも思い出話に花がさいた時でした。

園内見学をして「また、来るわ」と帰っていく姿は、大きくて頼もしくて、この子ども達と出会わせてもらったことへの感謝と先生冥利を感じる時です。 **本当に嬉しい瞬間です。**

最後になりますが本園では、子どもが心身共に健やかに成長するにあたっては、何よりも私達大人の責任が大きいと思っています。当たり前前のことを丁寧に教えていくことが大切で、本園では子どもも大人(先生も保護者の方も)「簡単なことを正確に丁寧に」と考えています。その方針に共鳴して下さる方が多く入園を希望して下さっています。

入園の方には見学时・面接時に園の色々をお話していますが、進級の皆さまにも園の考えや願いをさせていただきました。ある保護者会の役員の方が「寺内さくらは、自分たち保護者が先生と一緒に園の質を高める努力をして、子ども達を守る」とお話し下さいました。私もこの仕事をして42年になりますが、こんなに心強く励まされたことはありませんでした。 **本当に嬉しい瞬間でした。**

新学期がスタートして短い期間ではありますが、園からお願いすることばかりですが多くの約束やお願いを守って下さっています。お仕事の関係もあろうかと思いつたのに保育内容に合わせた登降園時間を守って頂いており、それが保育の充実に繋がっています。

理解とご協力を頂いていますこと、改めてお礼申し上げます。

これからも園と保護者の方が手を携えて、子ども達の未来のためによろしくお願いします。

園長 大谷典子

